

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	当院におけるメディカルツーリズムの問題点とその対策
研究責任者	化学療法科 國頭 英夫
研究機関名	日本赤十字社医療センター化学療法科, 呼吸器内科, 肝胆膵・移植外科, 看護部
研究目的と意義	<p>国際化に伴い、我が国にも海外から日本での医療を求めて来日する患者は増加し、いわゆるメディカルツーリズムが広まってきています。しかしながら、コミュニケーションの齟齬や医療事情、もしくは文化の違いなどから、さまざまな局面で行き違いが起り、トラブルや倫理的な問題を引き起こすこともあります。</p> <p>当院は海外からがん治療目的に来院する患者が比較的多いですが、すべてがスムーズに行っているわけではありません。その問題の内容を解析し、背景となる因子を検討することにより、将来の対策に活用することが期待されます。また、これから海外のがん患者を受入れる予定の国内各施設にとっても参考となると思われます。</p> <p>以上より今回我々は、海外から当院にがん診療目的に受診した患者において、診療上どのような問題が発生したのかを、治療前・治療中・治療後に分けて検討し、患者背景や問題点の特徴を解析する研究を計画しました。</p>
研究方法	<p>●対象となる患者さん：</p> <p>2015年1月1日から2016年12月31日の期間中、がん診療のため来日し、当院を受診した外国人患者さんが対象となります。</p> <p>・除外基準</p> <p>電子カルテの情報不十分により、解析困難であった患者さん 患者さん、またはご家族が当研究への参加を拒否された場合</p> <p>●研究方法</p> <p>診療録から必要な情報を集め、データベースを構築します。</p> <p>この方法は後ろ向き観察研究という方法で、新たに患者さんへ負担はかかりません。匿名化といって個人名を消去し、代わりに番号などを付与して処理を行うことで、誰のデータか分からないようにして、統計解析を行います。その結果は、呼吸器病に関する学会や医学雑誌に公表されることがあります。</p> <p>研究に組み入れられることを希望されない方は、担当医や下記の問い合わせ先にお知らせください。その場合、データ収集や統計解析は致しません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター呼吸器内科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22 担当者：栗野暢康 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>